



# クンドルニュース



Depository Library

Kyushu United Nations Depository Library

九州国連寄託図書館

2019.9 ニューヨーク

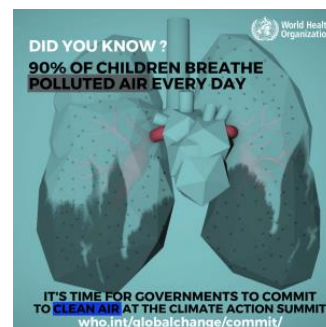
## 国連気候行動サミット UN Climate Action Summit 2019

国連のグテーレス事務総長は、地球温暖化防止の国際枠組み「パリ協定」が始まる2020年の前年に当たる2019年9月に加盟国首脳を集めて温暖化対策を話し合う「気候サミット」を開催することを表明し、改めて温暖化対策への結束した行動を要請、政府や企業、市民社会のリーダーに対して大胆な行動とはるかに大きな野心を持ち寄るよう呼びかけています。

サミットの開催に先立ち、国連と世界保健機関(WHO)、国連環境計画(UNEP)、気候と大気浄化のコアリション(CCAC)は、市民にとって安全な大気環境の実現を約束し、2030年までに気候変動対策と大気汚染対策の整合を求める取り組み「大気浄化イニシアティブ(Clean Air Initiative)」を発表し、あらゆるレベルの政府に参加を呼びかけました。WHOは、大気汚染で早死にしている人々は毎年700万人にもものぼっており、パリ協定を履行し、大気汚染が削減されれば、2050年までに年間100万人以上の命を救える可能性を指摘しています。

国連気候行動サミット公式サイト

<https://www.un.org/en/climatechange/un-climate-summit-2019.shtml>



「世界の子どもたちの90%が毎日汚染された空気を吸っている」と訴える大気浄化イニシアティブのロゴ

検索 詳しくは[こちら](#)



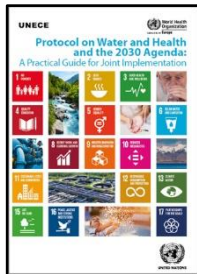
グレタ・トゥーンベリさんを知っていますか？スウェーデンの環境保護活動家で、温暖化対策を訴える16歳の少女です。環境に負荷をかけない移動手段、ヨットで大西洋を横断しこのサミットに出席します。

グテーレス事務総長、グレタ・トゥーンベリさんとのインスタグラム・ライブは[こちら](#)

### ◆◆今月の注目資料◆◆

『Protocol on water and health and the 2030 Agenda : a practical guide for joint implementation』

United Nations, 2019 viii, 36 p. ISBN: 9789211171938 国連書架 A2



- ・国連ヨーロッパ経済委員会(UNECA)と世界保健機関(WHO)による、水と健康に関するレポートで、安全で衛生的な飲料水の供給やヨーロッパ域内での十分な水資源の確保を目的としています。
- ・SDGs(持続可能な開発目標)とSDGs達成への重要なカギを握る水と健康との関連性を挙げ、それを実践していくための指南書としての活用が期待されます。

ご存知ですか？

国際デー

9月30日

国際翻訳デー

International Translation Day

国連は、2017年5月の国連総会において、9月30日を「国際翻訳デー」と宣言する決議(A/RES/71/288)を採択しました。

国家間の相互理解と世界平和に貢献する専門職としての翻訳者の果たす役割を認識し、敬意を払う機会とすることが目的です。

9月30日は、ラテン語聖書の翻訳者として知られるSt.Jerome(聖ヒエロニムス)の命日に由来します。国連の公用語は6言語ありますが、広く深い知識を求められる翻訳作業の難しさや重要性は想像を超えるものかもしれません。

## 注目トピック

# Mindanao Ransel Project

ミンダナオ・ランドセルプロジェクト

国連発信のSDGsは、今全世界で取り組んでいる2030年までの達成目標です。SDGsを見据え、「まず今の自分でできることから」、と活動する大学生をご紹介します！

廣瀬梨早さんは、福岡県の大学に通う3年生。国連フォーラム(国連に関心を持つ有志により設立。国連に関する勉強会や情報発信を行う)九州支部での活動や、タイでの大学生シンポジウムの参加等を通し、国際協力への関心が強くなったという廣瀬さん。当館と国連フォーラム九州支部で毎年共同開催している高校生向け国連イベントでは、高校生として参加した時の感動から、大学入学後フォーラムの一員として活動、昨年は責任者として会を盛り上げてくれました。そんな廣瀬さんが運営する当プロジェクト！熱い思いをうかがいました。



昨年11月、当館で開催した高校生向け国連イベントでの廣瀬さん

このプロジェクトを始めたきっかけは？  
活動内容は？

～学生の力で、未来を生きる子どもたちの橋渡しを～  
子ども達からのランドセルを紛争の続くミンダナオへ届けたい！



フィリピン・ミンダナオ島の貧困家庭出身の学生たちとの交流する機会を与えてくれた中学時代の恩師が、熱い思いを持って2年前に立ち上げたのが、ミンダナオ島の貧困家庭の子どもたちにランドセルを贈るこのプロジェクト。ミンダナオ島では、紛争等による貧困が続き、そのしわ寄せを受けている子どもたちは教科書などを入れるバッグすら買うことができません。それを聞いた日本の子どもたちの「力になりたい」という声によって、この2年間で200個を超えるランドセルがミンダナオに届けられました。3年目の今年は、紛争により荒廃した社会状況の中で孤児となったり、避難民となった子たちの、どんな小さなことでも力になりたいという思いから、私たち学生チームが運営を引き継ぎました。そして、プロジェクトに共感した方々から既に預かった60個を超えるランドセルと学用品を輸送し、現地渡航を実現するためのクラウドファンディングに挑戦しました。

今後の予定や目標を教えてください

皆さまの応援のおかげで、目標額を達成し  
クラウドファンディングは成立！



来年2月以降、私を含めスタッフが現地へ渡航し、フィリピン政府直属の社会福祉開発省の協力のもと、直接子どもたちにランドセルを届け、貧困地域の現状の把握、今後のプロジェクト運営についての打合せを行います。軽くて丈夫な日本のランドセルは現地でとても重宝します。私はこのプロジェクトを通して、「モノ」だけでなく「遠く離れた日本人たちからの思い」を届けることができるとともに、日本の子どもたちにとっても、自分のランドセルの寄付という身近なステップを通して、ミンダナオの人たちとの友情・絆を感じてもらえると信じています。帰国後、支援者向けはもちろん、寄付してくれた子どもたちの通う学校でも報告会を企画しています。

今回の活動を通して、私自身の目標も明確化しました。現在在籍する法学部で大学院に進み、その後は国連フォーラムの先輩方も活躍している外務省で仕事に就き、ゆくゆくは国連で働く、これが今の私の目標です。

検索

ミンダナオ ランドセルプロジェクト 詳しくはこちら

<https://readyfor.jp/projects/randoseru-bond>



編集後記

注目トピックで紹介した廣瀬さんとは、当館のイベントを通して4年目のお付き合いです。物腰やわらかで優しい雰囲気ながらも、内に秘める情熱とエネルギーな行動力とのギャップがとても魅力的！今後の活躍を心から応援しています！

詳細をお知りになりたい方は、ぜひ2階国際・国連カウンターにお立ち寄りください！



## 九州国連寄託図書館

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号 福岡市総合図書館 2階  
TEL 092 (852) 0628 URL <http://toshokan.city.fukuoka.lg.jp>

開館時間：10:00～20:00

10:00～19:00(日・祭日)

\*相談業務は19:00(日・祭日18:00)まで

休 み：毎週月曜・毎月月末

(休日のときはその翌平日)

年末年始・図書特別整理期間